

2020年6月13日

2020年度 産業学会会員総会 後半の部 議案

文責：事務局長 杉浦

※ 今回は、通常であれば口頭でご説明するものを枠囲み内に記載しております。

I 2019年度活動報告

1. 会員異動 (資料①)

入会 5名、退会 6名、自然退会 10名

純減 11名、会員総数 264名 (2020年6月13日現在)

資料① 会員異動

入会 (5名、敬称略、申込順)

三好 純矢 (岩手県立大学総合政策学部)、安倉 史典 (法政大学大学院公共政策研究科博士後期課程)、三藤 利雄 (立命館大学 OIC 総合研究機構)、宮川 正洋 (埼玉大学大学院経済経営系大学院博士後期課程、株式会社 ZANA Corporation)、河村 英輝 (一般財団法人群馬経済研究所)

退会 (6名、敬称略、届出順)

李 泰王、田口 定雄、河原 繁憲、桜井 徹、小川 貴史、小林 守

自然退会 (10名、敬称略、50音順)

氏田 壮一郎、金 瑛、呉 嘉鎮、駒形 哲哉、張 鳳群、馬場 芳、東谷 仁志、松田 智也、村社 隆、Roman Bartnik

2. 2019年度会計報告 (資料②、別紙1)

別紙1として、板垣先生の署名入りの監査報告書の写しがあります。

2019年度決算について、収入のうち、会費収入はほぼ予算通りでした。雑収入は年報の外販ですが、残念ながら定期購読中止の申し込みが1件、定期購読されていたところから注文が来なくなったのが1件あり、表記の金額となりました。

支出については、事務局費は年報34号が例年より重量が減少したことによる送料の低下、事務局長の任期最終年度に伴い消耗品の買い増しがほぼ不要であったことなどによって、表記の金額となりました。その他はほぼ例年並みです。

## 資料② 2019年度会計報告

2019年度決算(2019.4.1~2020.3.31)

収入			支出		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
前年度繰越金	5,685,923	5,685,923	大会準備金	200,000	200,000
会費収入	1,500,000	1,480,500	大会運営費	200,000	200,000
利息収入	100	24	地方部会運営費	160,000	160,000
雑収入	15,000	6,000	東部	80,000	80,000
			中部	40,000	40,000
			西部	40,000	40,000
			自動車産業研究部会運営費	50,000	50,000
			東部	30,000	30,000
			中部	20,000	20,000
			イノベーション研究部会運営費	20,000	20,000
			事務局費	150,000	69,046
			日本経済学会連合分担金	30,000	30,000
			HP管理費	0	0
			研究年報刊行費	660,000	574,040
			印刷費	500,000	502,200
			諸経費	20,000	0
			電子化・登載	80,000	51,840
			編集費	20,000	20,000
			論文審査謝礼	20,000	0
			非会員執筆料	20,000	0
			予備費	5,731,023	0
収入総額	1,515,100	1,486,524	支出総額	1,470,000	1,303,086
			次年度繰越金		5,869,361
合計	7,201,023	7,172,447	合計	7,201,023	7,172,447

## 2019年度末財産目録

三井住友銀行普通口座	2,618,111
ゆうちょ銀行振替口座	3,216,898
現金	34,352
合計	5,869,361

## 3. 日本経済学会連合の活動について

苑・山崎日本経済学会連合評議員より

## 2019年度日本経済学会連合会の活動について

日本経済学会連合は、加盟学会に対し、外国人学者招聘費用助成、国際会議派遣費用助成、複数学会共催事業助成等を実施すると同時に、国際的なシンポジウムの開催や加盟学会の活動を世界に紹介する英文年報、『連合ニュース』等を発行する。2019年度には、産業学会からの補助申請がなかった。

連合会の2019年度決算について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、審議と承認は延期することになった。その結果について追って報告する。

(山崎 朗・苑 志佳)

#### 4. 『産業学会研究年報（第 35 号）』の刊行について

川端編集委員長より

##### 『産業学会研究年報（第 35 号）』の刊行について

川端 望

『産業学会研究年報』第 35 号は 2020 年 3 月 31 日付で発行された。第 57 回大会での記念講演と共通論題から論文 2 本、自由論題報告から論文 5 本、書評 10 本、学会記事を掲載した。投稿原稿は 2 本あったが、いずれも査読の結果不掲載となった。納品は（本報告までに行われる予定）。全国大会会場への納品ができないために、新事務局長の手元に 300 冊、編集委員長に 10 冊を納品する。

第 57 回共通論題での報告者のうち、石橋毅氏は第 36 号への寄稿を申し出ているので、メール審議にてこれを了承済みである。よって次年度に申し送る。

論文数が少ないことは大きな問題である。新たな査読ルールの下で、論文の質を維持しつつ量を拡大するための取り組みが必要である。

## Ⅱ 2020 年度活動計画

### 1. 新理事の選出（会員総会前半の部で承認済み）

中部： 塩地 洋 氏 → 田中 彰 氏

その他は留任

東部	苑 志佳	立正大学
	川端 望	東北大学
	小林 哲也	城西大学
	中山 健一郎	札幌大学
	松原 宏	東京大学
	山崎 朗	中央大学
中部	肥塚 浩	立命館大学
	佐伯 靖雄	関西大学
	孫 飛舟	大阪商業大学
	田中 彰	京都大学
	中道 一心	同志社大学
西部	清水 一史	九州大学
	杉浦 勝章	下関市立大学
	田村 大樹	北九州市立大学
	堀井 伸浩	九州大学

### 2. 役職者の選出

会長 山崎 朗 氏

事務局長 肥塚 浩 氏

会計監査 塩地 洋 氏

編集委員長 川端 望 氏

日本経済学会連合評議員 苑 志佳 氏、山崎 朗 氏

### 3. 名誉会員への推薦について

塩地 洋 氏

### 4. 2020 年度予算案について（資料③）

右側に本来であればこういう予算を提案するというものを付けております。

収入については、会費と利息は前年度と同様としました。会員数が減少しているため会費収入については達成がやや困難かもしれません。雑収入は決算のところでご説明したように、定期購読が減少したため予算も減少させています。これでも達成は困難かもしれませんがキリのいい数字にしています。

支出ですが、大会準備金・運営費は、今回このような開催形態となりましたので、どのような支出が発生するか見通せない部分もあり、5万円ずつ計上しています。事務局費は例年 15 万円ですが、事務局長交代の年は引き継ぎ費用として通常であれば 5 万円上乗せ

の20万円となります。今回は全国大会において会費の徴収、年報の受け渡しが出来ないため、この分の作業、送料等が発生します。これにかかる費用を上乗せし、30万円を計上しています。

編集費については、今回のオンラインによる自由論題報告実施のため、執筆者や査読者とのやりとりが増加することなどを見込んで、5万円を計上しています。非会員への論文審査依頼も増加する可能性があります、これは来年度の支払いとなるため論文審査謝礼の金額は増加させていません。

資料③ 2020年度予算案

2020年度予算(2020.4.1~2021.3.31)

収入		支出		通常の場合
項目	予算	項目	予算	
前年度繰越金	5,869,361	大会準備金	50,000	200,000
会費収入	1,500,000	大会運営費	50,000	200,000
利息収入	100	地方部会運営費	160,000	160,000
雑収入	10,000	東部	80,000	80,000
		中部	40,000	40,000
		西部	40,000	40,000
		自動車産業研究部会運営費	50,000	50,000
		東部	30,000	30,000
		中部	20,000	20,000
		イノベーション研究部会運営費	20,000	20,000
		事務局費	300,000	200,000
		日本経済学会連合分担金	30,000	30,000
		HP管理費	35,000	35,000
		研究年報刊行費	690,000	660,000
		印刷費	500,000	500,000
		諸経費	20,000	20,000
		電子化・登載	80,000	80,000
		編集費	50,000	20,000
		論文審査謝礼	20,000	20,000
		非会員執筆料	20,000	20,000
		予備費	5,994,461	5,824,461
合計	7,379,461	合計	7,379,461	7,379,461

## 5. 『産業学会研究年報（第36号）』の編集について

川端編集委員長より

### 『産業学会研究年報（第36号）』の編集について

川端 望

第36号の編集は、別紙の「投稿規程・執筆要領」に従って行う。

#### ◇要点

- ・「招待論文」。2020年度の第58回大会の共通論題は取りやめとなったので、招待の対象がない。ただし、2019年度の第57回大会共通論題で報告いただいた石橋毅氏より2020年度投稿の希望があり、前年度編集委員会が了承しているため、石橋氏に「招待論文」寄稿を打診する。
- ・「投稿論文」のうち、オンライン大会自由論題報告には、すべて「投稿論文」の優先投稿権を付与する。
- ・「投稿論文」のうち、自由投稿の査読方法は例年とほぼ同じである。

#### ◇掲載論文増に向けて

- \* 論文の質を維持しつつ掲載数を増やしたい。そのために、メーリングリストでの投稿呼びかけ回数を増やす。

#### ◇スケジュール

- \* 8月31日：「投稿論文」初稿締め切り。査読手配。
- \* 10月上旬：部会報告執筆依頼（従来より早める）。
- \* 10月31日：初稿査読締め切り。
- \* 11月上旬：書評対象決定・執筆依頼。
- \* 11月中旬：投稿者に初稿査読結果通知。
- \* 12月11日：「投稿論文」2稿締め切り。査読手配。「招待論文」初稿締め切り。編集委員対応で手直しの助言。
- \* 1月初旬：2稿査読締め切り。
- \* 1月中旬：投稿者に2稿査読結果通知。
- \* 2月12日：掲載決定の「投稿論文」「招待論文」最終稿締め切り。
- \* 2月中旬以降：入稿。校正。

別紙2 『産業学会研究年報』「投稿論文」投稿規程・執筆要領（2020年度）  
（編集委員会＝理事会にて採択）

## 6. 会則の改正について

### (1) 海外会員制度の創設（資料④）

#### 資料④ 海外会員制度の創設に伴う会則の改定について（案）

(旧) 第4条、第5条 を統合 . . . . . 現行の会則はHPでご確認下さい。

(新) 第4条

1. 本会の会員は次の5種類とする。
  - (1) 普通会員
  - (2) 学生会員
  - (3) 海外特別会員
  - (4) 賛助会員
  - (5) 名誉会員
2. 普通会員は、本会の趣旨に賛同する産業に関する研究者とする。
3. 学生会員は、本会の趣旨に賛同する産業に関する研究者で、大学院またはこれに準ずる高等教育機関に学籍を有する者とする。
4. 海外特別会員は、原則として本会の普通会員または学生会員としての経歴を有する者で、日本以外の国・地域で研究活動を行う者とする。海外特別会員の資格申請は、3年に1度行うこととする。
5. 賛助会員は、本会の趣旨に賛同し学会運営を賛助する「個人」または「法人・団体」とする。
6. 名誉会員は、本会への貢献が顕著な者で、理事会の推薦に基づき会員総会の承認を得た者とする。
7. 本会の会員となるには、所定の入会申込書を本会へ提出し、理事会の承認を得る必要がある。
8. 本会の会員は、所定の会費を毎年の全国大会までに納めなくてはならない。会費については付則で定める。3年以上会費を滞納した会員は自然退会者とみなす。
9. 退会を希望する会員は、その旨を本会に申し出て、理事会の承認を得なくてはならない。
10. 会員は、本会の活動に参加することができ、研究年報、ニューズレター等の学会刊行物を受け取ることができる。ただし海外特別会員は、郵送による学会刊行物の送付を受けることができない。

以下、各条の条数を繰り上げ (旧) 第6条～第14条 → (新) 第5条～第13条

(新) 付則2

会費は、普通会員は年間 7,000 円、学生会員は 3,500 円、賛助会員は個人 1 口 10,000

円、企業・団体1口 20,000 円とする。海外特別会員および名誉会員は無料とする。ただし、海外特別会員が全国大会や部会に参加する際および研究年報への投稿をする際には、当該年度に普通会員としての会費を納入するものとする。

海外在住の会員より海外会員制度についての問い合わせがあり、他学会の制度等を検討した結果、上記のような制度を提案するものです。

会員となった留学生が就職などで帰国した場合、会費の日本への送金が困難となる場合があります。また事務局としても年報などの送付で負担が大きいことがあります。このような場合でも、全国大会や部会での発表、年報への投稿等の権利を保護するために、他学会の事例を参考に制度を設計しました。

海外の大学に勤務する（留学や研修を含む）日本人も対象となります。

会費を無料とする代わりに、年報を含む刊行物の郵送を行わないという制度です。

会費無料ですので永久的に在籍できますが、音信不通となっても困るので、3年に1度メール等による更新手続を想定しています。

あわせて、会員に関する条文を一本化するとともに、海外特別会員の権利の制限を明らかにするためにその他の会員の権利を明文化しています。

## (2) 事務局の所在地変更

### (新) 付則1

本会事務局は、当分の間、立命館大学（〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150 立命館大学大学院経営管理研究科 肥塚浩研究室気付）とする。

## 7. 2021年度全国研究会について

阪南大学にて開催予定

## 8. 2020年度各部会について

部会	日時・場所	連絡先（発表申込締切）
東部	未定	苑志佳氏 japan593271@yahoo.co.jp
中部	未定	中道一心氏 knakamic@mail.doshisha.ac.jp



西部	12月5日(土)午後 九州大学西新プラザ多目的室	堀井伸浩氏 horii@econ.kyushu-u.ac.jp
自動車(東部)	未定	上山邦雄氏 kami@blue.ocn.ne.jp
自動車(中部)	第1回 オンラインで開催	佐伯靖雄氏 yst07993@kansai-u.ac.jp
イノベーション	9月5日(土) 13:10~17:10(予定) 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 南館16階 1608室 大阪商業大学 CURIO-CITY	明石芳彦氏 (8月20日) akashi@daishodai.ac.jp

部会の開催につきましては、今後の状況により大きく変更される可能性があります。ホームページ等で最新の情報をご確認下さい。

以上